



日本バイ・デジタルオーリングテスト 医学会ニュース

No.13 2003 年 4 月 25 日発行

〒830-0018 福岡県久留米市通町 111-18 北島ビル 302 号

TEL:0942(38)4181 FAX:0942(37)4131 e-mail:info@bdort.net

URL: <http://bdort.net/>

◎ 2003 年 4 月久留米セミナー・認定試験及び東京セミナー報告

2003 年 4 月 12 日（土）・13 日（日）に久留米の O R T 生命科学研究所で、認定試験のためのセミナー及び認定試験が、2003 年 4 月 19 日（土）・20 日（日）に昭和大学歯科病院でアドバンスセミナーが大村恵昭先生を囲んでとりおこなわれました。

4 月 12 日の久留米セミナーは認定医として必要最低な内容が講義され、翌日の認定試験は、前日の講義内容がテストされました。初段試験受験者が 8 名、昇段試験受験者は 2 名、合計 10 名の実技試験が朝 9 時にスタートして、夕方 4 時には終了しました。客観的な実技評価がなされる形式で、大村恵昭先生は指の引き方とか、基本的な手技が正しくできているかどうかのチェックをされました。

この新しい形式での認定試験で受験が易くなり、誰でも受験資格を満たした人は、大村恵昭先生を囲んで勉強する会というくらいの気軽な気持ちで受験してほしいと大村恵昭先生はおっしゃっておられます。

2003 年 4 月 19 日（土）・20 日（日）の東京セミナーでは、案内が遅れたにもかかわらず、日本全国から 80 名以上の参加者が集まり、午前中は認定医の先生の発表、午後は大村恵昭先生の講演とデモンストレーションが行われ、活発な討議がなされました。

デモンストレーションは、癌の 6 点法によるスクリーニング（右手、左手、天突、臍、右足大腿部、左足大腿部；Integrin $\alpha_5\beta_1$ 60ng, ※右手、左手、天突が－6 の人は右耳と左耳の耳たぶもチェック）、癌の X,Y-axis 3D scanning、アルツハイマー病のスクリーニング（海馬の所で、Acetylcholine, Alminum, β -Amyloid (1-42), L-Glutamic Acid の 4 項目のチェック）が行われました。さらにヴァーチャル drug effect test や drug interaction test についてデモンストレーションが行われました。

今回、新しく話されたことを箇条書きすると

- ① 海馬（hippocampus）の位置を手っ取り早く知るためには、被験者にアスパルテム（人工甘味料）を持たせ、脳を調べ、第三者の一番強い指が簡単に開く所を調べていくと海馬と Pons が描けるということ。
- ② 赤玉ポートワインは、適量飲むと癌の治療に有効だが、オーバー・ドーズになるとかえって癌を進行させることになるということ、適量は個人差があるが 15cc～30cc の間であるということ。
- ③ アルツハイマー病のスクリーニング項目に L-Glutamic Acid を加えたこと。

正常な人の脳では 100mg 以上、アルツハイマー病になると 10mg とか 5mg に低下する。

- ④ Substance Z という植物の藍のある成分から作ったものが、Chlamydia に対して非常に有効であること。また、EPA/DHA や Trimox（Amoxicillin）との併用でキャンセルしないことを説明されました。

- ⑤ 今、騒がれている SARS ウイルスは、コロナウイルスの新種の単独感染ではなく、Chlamydia trachomatis あるいは Chlamydia pneumoniae の複合感染ではないかということ、

オーリングテストで調べると、EPA/DHA と Doxycycline の併用及びマスクを一日中して気管を 38 ° 以上に保っておくこと。EPA/DHA と Substance Z が効果があるが、Substance Z がまだ、市販されていないので EPA/DHA と Doxycycline の併用をすること

- ⑥ 心臓病のスクリーニングで、L-homocystine は 3mg を使用していたが、0.5mg を使用すると、鋭敏に心臓部の炎症をとらえることができる。

- ⑦ BL37 が子宮癌、卵巣癌、（男性ではそれに相当する癌）のスクリーニングに使えること。BL37 でオーリングテストをして－6 となると他が正常でも要チェックする必要がある。

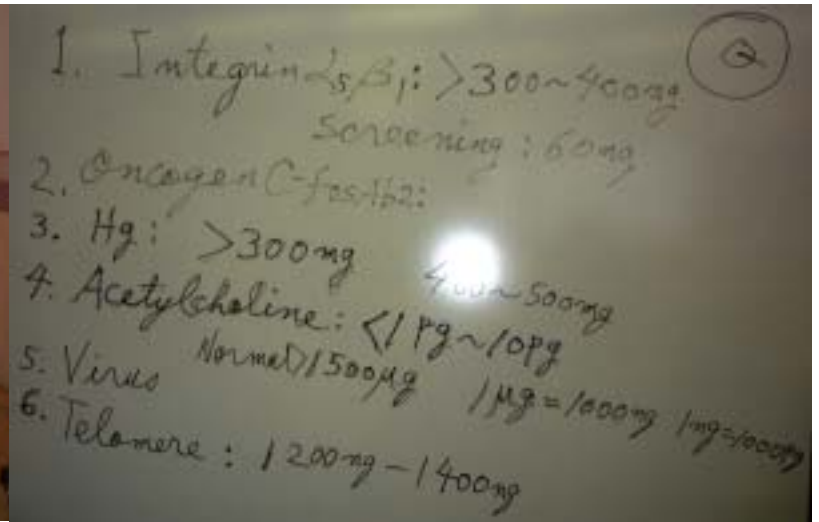
- ⑧ 手の臓器代表領域で、間違った所がある。小腸がない。大村先生が肩を痛めている時にマッピングしたので、本来なら、裏にあるべき肩が強調されて出てきて、小腸が描けていなかった。小腸では、癌がすくなくないので調べたら、小腸から抗癌作用のある物質が分泌されているようで、

癌患者の Selective drug uptake enhancement method で刺激する時に、小腸の代表領域も刺激するように指導していること。

最低でも 150 回刺激すること(デモンストレーションで Integrin $\alpha_5\beta_1$ が 550ng あった人が 1yg 以下に、テロメアも 1yg 以下に減ることを見せて下さいました。)

⑨ true St.36 もプレス ニードルを刺して 150 回刺激すること (マッサージ の仕方で個人差があるためにこのように指導している。)

⑩ 治療する時は、ウイルスや細菌の量を 1yg 以下に下げるまで徹底的に行っている。



true St.36 の場所と刺激方法を話される大村恵昭先生

癌のパラメーターの基準値

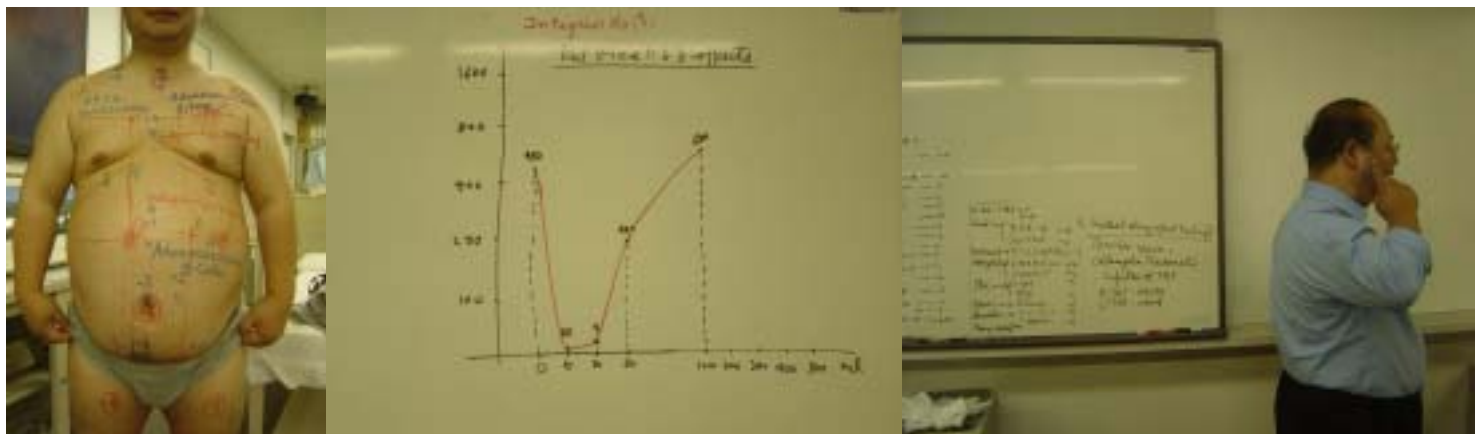


小腸の代表領域の場所と 150 回刺激した後、Integrin $\alpha_5\beta_1$ と telomere が 1yg 以下に下がったことを示されたデモンストレーションの結果

2003 年 4 月 12 日（土）・13 日（日） 久留米セミナー及び認定試験



大村恵昭先生の講演 胸腺代表領域の探し方のデモンストレーション 臓器代表領域のチェック 患者の衣装のチェック



X,Y,Z axis, 3D scanning 赤ワインの適量の Integrin $\alpha 5 \beta 1$ によるチェック 開口時-6、閉口時-2 となる TMJ の原因探索



認定実技試験 A 会場 診察室のチェック 患者の衣類・装飾品のチェック



大村恵昭先生の指で基本指の選択 ペアの先生の舌診をし、異常部位をチェック 腎臓のイメージング



イメージングした腎臓に針金を巻いて X 線でチェック

臓器代表領域のチェック

薬剤相互作用のチェック



薬剤相互作用のチェックに用いられた飲食物



認定試験受験者・見学者の記念撮影

- ※ Virtual drug effect testing
- ※ Drug Interaction Test

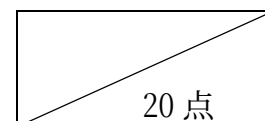
氏名： _____ 年齢 _____ 歳 (男・女) 職種 _____
 住所： _____ Tel _____
 出身大学： _____

試験会場 A

A-1. BDORT を行う診察環境で悪い点と改善方法を示せ。



- | 悪い点 | 改善方法 |
|---------------------|-------|
| ① (Dr の椅子) | _____ |
| ② (ノートパソコン) | _____ |
| ③ (携帯電話) | _____ |
| ④ (マイナスイオン発生器) | _____ |
| ⑤ (壁・壁紙の材質) | _____ |
| ⑥ (ビジネスフォンの位置) | _____ |
| ⑦ (電気スタンド) | _____ |
| ⑧ (デスクトップパソコン・特に外側) | _____ |
| ⑨ (シャーカステン) | _____ |
| ⑩ (天井のライト) | _____ |
| ⑪ (エコーの機械) | _____ |
| ⑫ (エアコン) | _____ |
| ⑬ (枕 巻いてある紙) | _____ |
| ⑭ (薬剤の置いてある位置) | _____ |

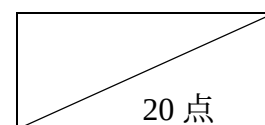


A-2.BDORT を施行する前に患者さんに指導すべき事を示せ。



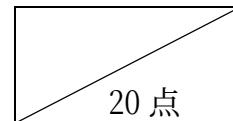
- | | |
|---------------------|-------|
| ① (ヘアピン) | _____ |
| ② (イヤリング) | _____ |
| ③ (ネックレス) | _____ |
| ④ (携帯電話) | _____ |
| ⑤ (指輪) | _____ |
| ⑥ (手を組んでいる) | _____ |
| ⑦ (メガネ) | _____ |
| ⑧ (テレフォンカード等の磁気カード) | _____ |
| ⑨ (下着) | _____ |
| ⑩ (リップクリーム) | _____ |

他にワイヤー入りブラジャー、タグシール、膝を組んでいる etc.



A-3.BDORT を受ける患者さんに法的に通用する Informed consent form に必要な基礎的要素を示せ。

- ① Brief Description 実験的方法 → Informed Consent
- ② Potential Beneficial effects Document 必要、写真、データ、記録
- ③ Potential Adverse effects ORT に基づいて診断、治療
- ④ Protecting a doctor's Wright (訴えない)
- ⑤ Patient Signature & Name, date
- ⑥ Witness sign



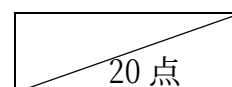
A-4.下の写真を見て異常部を囲み、可能性のある病気を説明しなさい。

- ① Fungus の強い感染 ② 悪性腫瘍(深くくぼんだ所)の可能性 ③ 腎臓の異常
肺または乳房に相当する場所 Genito urinary disorder



- ④ 脳循環の異常

- ⑤ tooth mark (Virus の感染)
舌尖部が赤い 気管支・肺に炎症反応



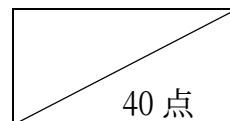
試験会場 B

B-1.あなたが検者となって BDORT を正確に行う為の必要事項を順番に示してください。
(必要条件、環境チェックなど)



Check ポイント

- ① アルコール 検者
- ② アルコール 第三者
- ③ 丸い輪 (検者)
- ④ 丸い輪 (第三者)
- ⑤ 反対の腕の位置 (45°)
- ⑥ 基本指選択の第一条件
- ⑦ 基本指選択の第二条件
- ⑧ 基本指選択の第三条件
- ⑨ イス
- ⑩ 周りの環境



B-2.ペアで受験している人の身体の異常部を舌診～推測した上で、列挙し BDORT グレーディング 臓器代表領域からグレーディングしなさい。

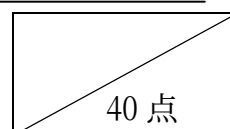
Check point

- ① 舌診 (顔面診断でも可) が正しくできるか? (1～3 個の異常を指摘)
- ② 正しい臓器代表点を探せるか
- ③ プラス、マイナスのグレーディングが正しくできるか?

※昇段試験の時は、X-,Y-axis スキャニングでライン型レーザーと Integrin $\alpha 5 \beta 1$ 60ng を用いて癌あるいは前癌病変の位置の特定と X 線、CT 撮影になる場合があります。

臓器

- ① ()
- ② ()
- ③ ()
- ④ ()
- ⑤ ()
- ⑥ ()
- ⑧ ()
- ⑨ ()
- ⑩ ()



B-3.バイ・デジタルOーリングテストイメージング法を用いてペアで受験している人の右の腎臓をイメージングしなさい。

被験者氏名：_____

イメージング写真



30 点

B-4.描いた腎臓イメージングに電線を貼り付け、X線撮影をして下さい。その上でX線のポラロイド写真で撮影し、貼り付けて下さい。



20 点

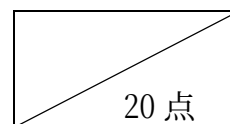
試験会場 C

C-1 昨日のセミナーで描かれた臓器代表領域をグレーディング法にて評価してください。(※ペアの先生との指合わせが重要)

前日に大村恵昭先生が消えないマジックで臓器代表点の場所を書いて、グレーディングされた患者を、ペアの先生で指合わせをしてグレーディングした。

No	臓 器	グレーディング評価 (-7 -6 -5 -4 -3 -2 -1 0 +1 +2 +3 +4)	No	臓 器	グレーディング評価 (-7 -6 -5 -4 -3 -2 -1 0 +1 +2 +3 +4)
1	海馬(右)	1	10	胆のう	-2
2	海馬(左)	-2	11	胃	-2
3	顎関節(右)	開口 -6 閉口 -1	12	脾臓	-6
4	顎関節(左)	開口 -6 閉口 -1	13	小腸	-6
5	気管支	-2	14	大腸	-6
6	肺尖部(右)	-1	15	膀胱	-6
7	肺尖部(左)	-2	16	腎臓(右)	-2
8	心臓	-6	17	腎臓(左)	-1
9	肝臓	-6			

最も異常の強い所はどこですか。 顎関節、心臓、肝臓、脾臓、小腸、大腸、膀胱 etc.



C-2. この患者さんの最も異常が強いと考えられる臓器を特定し、BDORTで virtual drug effect で診断して下さい。

①部位：

②BDORT estimation of drug effect

①EPA-α ☐

⑥RIFAMPICIN

②ゾビラックス

⑦TJ-10 (柴胡桂枝湯)

③サワシリン

⑧ジフルカン

④Doxycyclin ☐

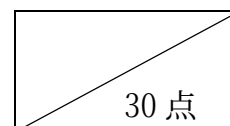
⑨コンバントリン

⑤Isonicotinic acid hydrazide

⑩ 中国パセリ ☐

③ 病気の原因はどのように考えられますか。

例 ウイルス感染、chlamydia 感染、重金属沈着
前癌病変



C-3. 病因と考えられる病原微生物 (細菌・ウイルス・癌遺伝子等など) を指摘し、その微生物を定量して下さい。

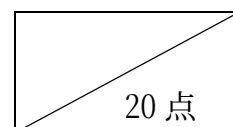
(定 量)

① 顎関節の開口時の異常 Chlamydia trachomatis 1000ng

② 心臓の異常 Chlamydia pneumoniae 1000ng

③ 大腸の異常 Integrin α5β1 500ng

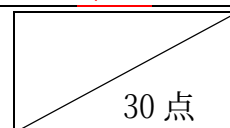
※ 前癌病変を疑った時は、X,Y-axis スキャンで場所を測定し、癌のパラメーターを測定する。



C-4. Drug Interaction の問題です。

有効薬剤と考えられる薬剤の中で EPA-α と薬剤相互作用を check しグレーディングで薬剤有効性を示しなさい。

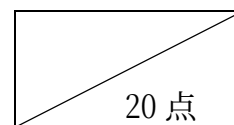
①コーヒー	マイナス	⑨グレープフルーツ	マイナス
②紅茶	マイナス	⑩オレンジジュース	マイナス
③ココア	マイナス	⑪ガーリック	マイナス
④日本茶	マイナス	⑫オニオン	マイナス
⑤ミカン	マイナス	⑬中国パセリ	+4
⑥ビール	マイナス	⑭サイコケイシトウ	マイナス
⑦ウイスキー	マイナス	⑮チョコレート	マイナス
⑧タバコ	マイナス	⑯赤ワイン	+4



C-5. 治療に使った薬剤が目的異常部へ入ったかどうかを調べなさい。

その上で入れる為の方法を説明しなさい。

- ①selective drug uptake enhancement を行う手の臓器代表領域を図解
- ②気功紙を使う
- ③赤色 LED を患部に当てる
- ④クリプトンライトを使用する
- ⑤ true ST.36 を 150 回刺激する etc.



- ※ 今回は、認定試験の前日にセミナーを行い、セミナーの中で、筆記及び実技試験の解答を言われ、それが翌日試験されるという形式で行われました。
7月も7月12日(土)・13日(日)でセミナー及び認定試験(会場:ORT 生命科学研究所、久留米市)が行われ、7月19日(土)がベーシックセミナー、7月20日(日)・21日(月)が第13回日本バイ・デジタルオーリングテスト医学会が東大山上会館で開催される予定です。
- ※ 第13回医学会の抄録は、4月30日(※e-mailで抄録を送っていただける場合は、ゴールデンウィーク明けまで受付ます。)
- ※ シンポジウムに関しては、各部会長から連絡が来るとしますので、御協力下さい。
- ※ 抄録は、認定医の先生に審査してもらい、総合得点の高い演題から優先的に発表してもらう予定です。
- ※ 抄録をお送りの際に、発表形式(パソコンによるPower point形式の発表、OHPによる発表、スライド講演等)もお書き下さい。
- ※ 審査の結果は、6月上旬に、抄録提出者の先生に、御連絡致します。